

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
36	川崎市立菅生中学校	山本 篤

学校教育目標	今年度の重点目標
<p><知・情・意・体の調和のとれた人間形成をめざす> 1, 教養のある文化人(知) 2, 情操豊かな人(情) 3, たくましい実践力(意) 4, 強じんな体力(体)</p>	<p>○「あいさつ」の励行 ○「環境整備」の励行</p>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 働き方改革への意識改革と業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の出退勤の完全履行 ・時間外勤務時間の削減に向けた取り組み ・タブレット端末を使った会議の推進 ・ペーパーレス化に向けた取り組み 	<p>コロナ禍を境に、働き方改革が急速に進められて行く中で、研修を通して教職員の意識改革を勧め、作業効率のアップに繋がってきたが、まだ定着している訳ではないので、今後も対応していく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からお互いへの声掛けを意識する ・教職員との個人面談を実施していく ・ペーパーレス化を進める意味でも、タブレット端末を使用しての会議を増やしていく
2 ○キャリア在り方生き方教育とあいさつの励行	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方について考える活動の実践 ・職場体験を通して働くことの意義を学ぶ ・校外学習を通して社会性や仲間との協力等を学ぶ ・あいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路に向けて、考える良いきっかけとなっているようである。 ・コロナ禍が収まりつつある中で、職場体験が実現できたことは、様々な面で大きな収穫である。働くことの意義や生きがい、社会的責任、更に教師以外の大人から学校では学べないこと等、大きな刺激になったようである ・学校から離れ、仲間と協力しながら課題を克服していく良い機会になったようである ・卒業後、社会の一員として暮らしていく中で、人間関係作りの基本は、あいさつであるという自覚を持ち、積極的にあいさつができるようにしていきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路や将来の生き方を考える場を設けるため、中学校3年間を通し計画的に進めていきたい ・コロナ禍は収まりつつある中、職場体験に理解を示してくれる事業所の確保が急務である ・学校内では経験できない貴重な機会だけに、安全対策を万全に臨んでいきたい ・普段からあいさつをすることを意識させていきたい。また、朝のあいさつ運動を生活委員会のみに留めず、学校全体で取り組んでいきたい
3 学びの保障	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上に向けた研修の実施 ・わかる授業、個に応じた指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大要請訪問や校内授業研修等、総合教育センターから指導主事を招いての研修を行い、授業力の向上を図り、そこから得たことを今後の授業に活かせるようになってきた ・生徒にとってわかる授業や個に応じた指導の実践により、学習意欲の向上に繋がった ・教科内での情報交換を密に行い、授業力の向上に繋げることができた ・GIGAスクール構想も定着し、授業内でタブレット端末を有効に使うことで、今まで以上の成果をあげている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修を欠かさず行い、授業力の向上に努めていく ・生徒の学力定着には差があり、厳しい生徒への対応を対応を考えていく ・GIGAスクール構想の充実を図るため、授業での更なる有効活用を進めていく
4 ○環境整備と危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の保守保全に努める ・環境が与える影響は大きく、普段から環境整備に気を配っていく ・清掃活動の充実を図る ・掲示物の充実を図る ・避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・破損修理を迅速に行い、常に快適な環境を維持している ・清掃活動の意識を変えることで、「自分達の学校は自分達で綺麗にする」という、自覚を持った清掃を行えるようになってきている ・廊下、階段等の掲示物の充実化は、環境美化に繋がり、過ごし易い環境を作り出した。また、トイレ内に額入り写真を掲示したことにより、汚さず綺麗に使用するという気持ちを生み出せている ・地震や火災等の災害が頻発しているだけに、普段からの取り組みや意識付けの大切さに繋がってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が老朽化しているため故障や破損が頻繁におこるが、生徒・教職員が快適に過ごすためにも迅速な修理等が求められる。 ・快適な環境を生み出していくのに、掲示物の充実は大きな力となる。委員会や係の生徒の意識をどのように高めていくかが、今後の課題になっている ・普段からの清掃活動をしっかり行うことで、快適な環境を生み出せることができるという意識をどのように持たせるかが課題である

5	人権尊重教育の充実と いじめ不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の意識向上を図るための研修や取り組みの実施 ・いじめ防止の取り組みと研修、早期発見と指導の徹底 ・学習室の充実に向けての取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任会や職員会議での情報交換や防止対策を密に行うことで、未然防止に繋がっている ・学習室対応として、教職員が当番制で必ず付くようにし、支援サポーターを配置するなどより一層の手厚い対策を講じている ・いじめは絶対に許さないという姿勢を示し、生徒の様子を普段から観察し、少しの変化も見逃さないようにする ・COを通し外部機関の応援を得ることで、専門的な知識や対処法を駆使し、解決に向けての取り組みを行っている ・毎週木曜日はSCが来校、生徒だけでなく保護者への相談も行うことで、充実した支援体制を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策としては、外部機関、CO、SC、保護者との連携を密に図り、適切に対応していきたい ・いじめに関しては、未然防止・早期発見・早期対応を心掛け、情報交換を密に行うようにしていく
6	保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を代表するPTA、地域を代表する懇話会と連携した行事の実践 ・保護者や地域に、学校への理解と協力を得るための取り組みの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科指導の取り組みを理解してもらうため、授業参観の実践は有効であった ・行事を通して保護者や地域との連携を図ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者・地域がお互いを理解し協力していくためにも、情報交換の場は必要不可欠である ・来年度は、地域への環境整備週間を設け実施することで、地域への貢献を進めていく
7	健康保持と推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育・安全教育を推進していくために、定期的に講演会や研修を行う ・常に情報交換を密にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任会や職員会議での情報交換を密に行い、生徒の健康安全について共通理解を図った ・「薬物乱用防止」「熱中症対策」「性教育」等の講演会を実施、健康推進に努めた 	<p>温暖化の影響か、夏の暑さ対策が急務である。エアコンの使用は不可欠となるが故障が相次ぎ、生徒や教職員の健康保持のため、根本的なメンテナンスが必要である</p>
8	行事の精選	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通した各行事を精選していく ・地域行事への参加については、連絡を密に取り進めていく 	<p>学校の活性化に占める行事の割合は大きく、コロナ禍が収まると同時に数々の行事が復活したことは明るい材料でもある。中でも地域の理解と協力を得るためには、地域行事への参加は大切だが、校内行事も含めて、ただコロナ禍以前に戻すのではなく、内容や参加形態等を吟味していく必要がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に拘ることなく、改善点を見出し、内容を吟味精選していく ・地域との連携や情報交換を進めていく

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省と生徒・保護者への学校評価アンケートから、現在の状況や今後の課題について協議した。生徒・保護者の学校生活や学校行事への理解と協力は概ね良好である。学校評価アンケートの結果から、ルールを守る・教職員への信頼度は、高い割合を示しており、学校が安全安心な場であること、教職員の生徒に寄り添う指導が、高評価を生んでいるものと思われる。今後、経年結果をみていくことで、常に振り返りを行い、更なる安定化を進めていくことを期待したい ・地域・保護者との連携においては、コロナ禍が収まりつつある中で、地域行事への学校の関わり方や協力について、教職員の働き方改革を踏まえ、情報交換を密に行い、お互いに理解を求めながら進めていくことをお願いしたい ・創立50周年記念式典では、懇話会をはじめとする地域には多大なる理解と協力を得た。ここで培った信頼協力関係を、今後の菅生中学校発展のために活かしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取り組みから生まれる課題等を、生徒・教職員・PTA・地域・関係者等がお互いに協力して解決し、そこから生まれる信頼関係をより強固なものにしていきたい ・コロナ禍が収まりつつある中、コロナ禍前にそのまま戻すのではなく、この4年余りの経験を活かし、行事の精選やより有効なものにしていくため、情報交換を密に行いお互いの理解を得ながら進めていきたい ・学校が安心安全に過ごせる場であるため、環境整備やあいさつの励行は欠かせないものである。生徒、教職員はもちろん、PTA・地域を交えて情報交換を密に行い、進めていきたい ・創立50周年記念式典を無事終えることができ、様々な面で高い評価を得た。これは、生徒・教職員・PTAはもちろん、懇話会をはじめ地域や関係者の方々の理解と協力があってこそのものである。長い歴史と伝統を今後も継承し、より一層の発展を期して、次の周年行事に向けて取り組んでいきたい ・生徒の学力だけでなく、生活・人間関係等の問題や悩みに真摯に向き合い、常に生徒に寄り添える指導を心掛けていきたい ・今年度、目に見える形で生徒達の文武両道での頑張りや成果となって表れてきている。もちろん生徒達の努力あってのものだが、その生徒達を指導する教職員の指導力、保護者の家庭での支えがあることを特筆したい。